

全国学習塾協同組合

2022 年 塾・教育総合展 in 東京

模擬授業大会・記念講演会資料

チヨークー本で教育改革を！

ーレッスンプランに基づいた模擬授業を活用し、

「自分なりの教え方日本一」を目指す具体的方法とは

開倫塾主催「全国模擬授業大会」14回の経験を踏まえてー

開倫塾

塾長 林明夫

2022 年 1 月 7 日 (金)

① 12:00 ～ 12:20

② 13:00 ～ 13:20

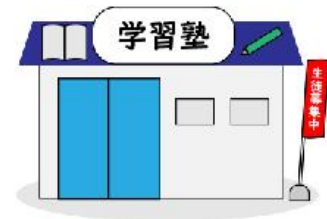
東京国際フォーラム B2F ホール E (2)



1. はじめに

(1) 「開倫塾」 とは

- ① 1979 年に栃木県足利市で創業
- ② 創業者は林明夫(塾長・現在に至る)
- ③ 栃木県・群馬県・茨城県・東京都川の手地区に展開



(2) 「全国模擬授業大会」 とは

- ① 2006 年に第 1 回大会開催
- ② 2019 年に第 14 回大会開催
- ③ 2022 年 5 月 29 日(日)に第 15 回記念大会開催予定



(3) 「開倫塾 全国模擬授業大会の目的」 とは

- ① 開倫塾「自己学習能力の育成」
- ② 全国模擬授業大会「チョーク一本で教育改革を！」
- ③ すべては、「主体的に学ぶ力(学力)」を育成し、「成功の実現(多様な選択肢のある人生を歩み、よく生きる)」と、「正常に機能する社会(持続可能な社会)の形成」に貢献するため

2. 「自分なりの教え方日本一」を目指そう！

(1) 授業の基本は「授業の設計」

- ① 毎回の授業内容を練り上げて「レッスンプラン」をつくろう
- ② その前提は教えるべき内容を十分に「理解」し、「定着」していること
 - * 「教材研究」が欠かせない
- ③ 「レッスンプラン」を「ノート」や「カード」に書き記す



(2) 「レッスンプラン」どおり、まずは「一人模擬授業」を

- ① 「ぶっつけ本番」で授業ができるのは、「ベテランの先生」のみ
- ② その「ベテランの先生」でも、頭の中で時間配分や想定される事態を考えながら行って、初めてよい授業ができる
- ③ ある程度構想がまとまったら「一人模擬授業」を

(3) 「授業中」は、「レッスンプラン」に基づき授業展開を

- ① 塾生の何気ない「発言」や「質問」もレッスンプランの中にメモ
- ② 授業後は、その日の授業を振り返り(リフレクション・省察)、改善点や反省点をすべてメモ
- ③ 「一年分のレッスンプランは、先生としての成長の記録」…大切にして何回も「学び直し」を！

3. 全国模擬授業大会を活用しよう

(1) 全国模擬授業大会などで「武者修行」を

- ① 毎年 5 月最終日曜日、開倫塾主催(栃木県)
- ② 毎年 10 月最終日曜日、野田塾様主催(愛知県)
- ③ 各塾団体や各学習塾でも定期的に開催



(2) 出場の心構え

- ① 何のために出場するのか、目的を明確に
- ② 出場が決まったらレッスンプランを練り上げ、練習を！
「練習は不可能を可能にする」(小泉信三先生)
- ③ 1～2 か月前から同僚や志を同じくする先生方に見てもらい、ブラッシュアップを

(3) 模擬授業参観の心構え

- ① 「テーマ」を決めて、模擬授業大会の参観を
- ② 「参考になるところ、よいところ」だけに注目し、参考にする
- ③ 「あらさがし・欠点さがし」はしない

＊ただし、「改善点」はしっかり「学び」、「反面教師」とさせて頂く



4. 最後に一言

(1) 「模擬授業」を活用しての「授業改善」は極めて有効

(2) ただし、その前提は、

- ① 「教えるべき内容研究」
- ② 「カリキュラム研究」
- ③ 「教材研究」



(3) 先生としての勉強を怠らない

- ① 「^{りけん}離^{けん}見の見」…舞台で舞っている自分の姿を離れた客席から観る(世阿弥)
- ② 各教科、小学 4・5 年生～高校 3 年生、大学 1・2 年生の内容までを体系的に学び、教えるべき一項目ずつの本質的理解に励む、一生励む

③ 「教育の成果を決定する要因」とは、

「本人の自覚」と「先生の力量」—「本人の自覚を促す」のも「先生の力量」

がんばりましょう!!



感謝

<https://kairinjyuku.jp/jyukuchou/> 林明夫のページ